

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
2019年度事業報告

当財団の2019年度の事業活動は、以下の通りである。

1. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター

- ① フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。
- ② アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。

(2) 関西セミナーハウス

- ① 当財団の事業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。
- ② 当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設及び会議場を諸宗教団体、労働組合、文化・社会活動団体、教育機関・学会・研究会等に供した。

(3) 広報活動

- ① 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況について、機関紙「はなしあい」、ウェブサイト等によって継続的に情報を発信した。
- ② 機関紙、ウェブサイト等により、年度事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、その他当財団に関する情報を公開した。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資した。

2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事業、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員および寄附者からの支援を仰いだ。

4. 財団の財政健全化

2017年度第3回理事会（2018年2月26日に開催）は、日本キリスト教会館関連資産の運用益及び関西セミナーハウス収益の一部を原資とし

て、2018年から10年で運用基金を1億円の水準まで戻す財団財政の健全化の計画を承認した。財団本部は、財政健全化目的の2019年度分積立として250万円を運用基金に振り替えた。関西セミナーハウスからの本部負担金340万円と合わせて、運用基金は年間で590万円増加した。その結果、年度末現在の運用基金残高は4,500万円となる。

## I 財団本部

### 1. 組織（2020年3月31日現在）

- 1) 理事会 理事 6名
- 2) 監事 2名
- 3) 評議員会 評議員 7名
- 4) 事務局 事務局長 1名

### 2. 会議

- 1) 理事会 定時理事会 2回  
臨時理事会 1回
- 2) 評議員会 定時評議員会 1回

### 3. 広報

機関紙「はなしあい」発行

4月（603号）、5月（604号）、6月（605号）、7・8月（606号）、9月（607号）、10月（608号）、11月（609号）、12月（610号）、1・2月（611号）、3月（612号）（計10回）

### 4. 収益事業

当財団が持分を有する日本キリスト教会館の一部を以下の5団体に賃貸した。公益財団法人早稲田奉仕園、日本基督教団出版局、特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・東京、日本基督教団全国教会婦人会連合、公益財団法人東京YMCA

## II 関東活動センター

### 1. 組織（2020年3月31日現在）

- 1) 運営委員会 運営委員 10名
- 2) スタッフ 所長代行 1名  
事務局 1名

### 2. 会議 運営委員会 7回

### 3. プログラム活動

#### 1) フォーラム事業

##### (1) 関東フォーラム 宗教対話 I

連続講座 日本キリスト教史を読む 第Ⅲ期昭和篇

講師 戒能 信生（日本基督教団千代田教会牧師）

会場 早稲田奉仕園・AVACO チャペル

第1回 2019年5月9日（木）「この国の讃美歌を創った由

- 木康の生涯と信仰」参加者37名
- 第2回 2019年6月13日(木)「赤岩栄 そのキリスト教  
批判と闘いの生涯」参加者34名
- 第3回 2019年7月11日(木)「木俣敏 農村伝道と伝道  
圏伝道に尽くした生涯」参加者42名
- 第4回 2019年9月12日(木)「戦争責任告白を担った鈴木  
正久の生涯と信仰」参加者50名
- 第5回 2019年10月10日(木)「神の痛みの神学を提唱  
した北森嘉蔵の生涯」参加者39名
- 第6回 2019年11月14日(木)「バルトの翻訳と平和運  
動を担った井上良雄」参加者46名
- 第7回 2019年12月12日(木)「隅谷三喜男の生涯とそ  
の人格的信仰」参加者56名

Ⅲ期3年にわたって継続してきたこの連続講座の最終日に、参加者に呼びかけてお茶の会を開催した。23名の参加があり、アンコール開講の開催希望が多く寄せられた。

(2) 関東フォーラム 宗教対話Ⅱ

大正・昭和期に建てられた教会を訪ねて(東中野教会、イグナチオ教会)連続講座「日本キリスト教史を読む」オプション・ツアーコンダクター 戒能 信生(日本基督教団千代田教会牧師)  
2019年10月24日(木)参加者23名

(3) 関東フォーラム 宗教対話Ⅳ

第5回 柏木義円公開講演会  
講演会「柏木義円とその家」  
共催 柏木義円研究会  
2019年11月9日(土)  
会場 日本キリスト教会館  
講師 市川浩史(群馬県立女子大学教授)  
応答 大和昌平(東京基督教大学教授)  
参加者 20名

(4) 関東フォーラム 今日の課題Ⅱ

「ジャーナリストがその本音を語る」  
会場 カフェ・スナック ViA

第1回 2019年6月28日(金)  
講師 菅原伸郎(元朝日新聞論説委員)  
参加者 12名

第2回 2019年11月29日(金)  
講師 佐々木宏人(元毎日新聞記者)  
参加者 5名

第3回 2020年2月14日(金)

講師 川畑泰 (元 Japan Times 論説委員長)

参加者 16名

2) 研修・セミナー・体験交流事業

(1) 神学生交流プログラム

第11回神学生交流プログラム

2020年3月10日(火)～12日(木)

会場 鎌倉黙想の家

校長 神田健次 (関西学院大学名誉教授)

講師 廣石望 (立教大学教授)

参加者7神学校から13名の申し込み

新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し中止

2021年3月16-18日に開催予定の第12回神学生交流プログラムに第11回の参加申込者を全員招待することとした。

(2) 研究会 ボイストレーニング

「さらに豊かな礼拝のためにことばを届けるトレーニング」第5期

会場 日本基督教団巣鴨ときわ教会

講師 友野 富美子 (日本基督教団吉祥寺教会副牧師)

第1回 2019年5月21日(火) 参加者9名

第2回 2019年6月18日(火) 参加者6名

第3回 2019年7月16日(火) 参加者7名

第4回 2019年9月17日(火) 参加者5名

第5回 2019年10月15日(火) 参加者5名

第6回 2019年11月19日(火) 参加者4名

第7回 2019年12月17日(火) 参加者5名

第8回 2020年1月21日(火) 参加者6名

第9回 2020年2月18日(火) 参加者4名

第10回 2020年3月17日(火) 参加者18名

(3) 聖書を教材として用いる講座

①聖書を読む講座 I

新しい聖書の学び「マルコ福音書をジックリと読む」II

共催 早稲田奉仕園

会場 早稲田奉仕園スコットホール

講師 山口 里子 (日本フェミニスト神学、宣教センター共同ディレクター)

第1回 2019年4月9日(火) 参加者18名

第2回 2019年5月14日(火) 参加者17名

第3回 2019年6月11日(火) 参加者17名

第4回 2019年7月9日(火) 参加者20名

第5回 2019年9月10日(火) 参加者20名

- 第6回 2019年10月8日(火) 参加者15名
- 第7回 2019年11月12日(火) 参加者18名
- 第8回 2019年12月10日(火) 参加者18名
- 第9回 2020年1月14日(火) 参加者17名
- 第10回 2020年2月4日(火) 参加者16名

スピン・オフ企画

山口 里子著『食べて味わう聖書の話』のレシピに基づいて「聖書のレシピで料理して共に食べる集い」Ⅱ

2020年3月10日(火)

会場 早稲田奉仕園キッチン

新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して中止

#### ②聖書を読む講座Ⅱ

「上林順一郎先生と一緒に聖書を読もうーこの時代の中で聖書からのメッセージを読み解く」

講師 上林順一郎(日本基督教団隠退教師)

会場 早稲田奉仕園セミナーハウス

第1回 2019年9月25日(水) 参加者15名

第2回 2019年10月23日(水) 参加者18名

第3回 2019年11月27日(水) 参加者20名

第4回 2020年1月19日(水) 参加者16名

第5回 2020年2月26日(水) 参加者10名

#### (4) 共催企画「災害におけるエキュメニカルな支援を考える」

2019年11月28日(木)

会場 日本基督教会館4階A会議室

報告者 太田直宏(YMCA せとうち総主事)

横田法治(九州キリスト教災害支援センター理事長)

牧 希子(CWS Japan 事務局)

参加者 32名

### Ⅲ 関西セミナーハウス活動センター

#### 1. 組織 (2020年3月31日現在)

1) 運営委員会 運営委員 12名

2) スタッフ 所長代行 1名

事務局 1名

2. 会議 運営委員会 9回

#### 3. プログラム活動

##### 1) フォーラム事業

##### (1) 修学院フォーラム 社会

目的 昨年度までの「宗教と戦争」を発展的に継承し、シリーズ「平和を考える」を開く。継続テーマの「エネルギー

を考える」の第8回では、原発を克服する困難と、希望について考える。

第1回 <平和を考える 1>

題「ボンヘッファーの平和倫理」

2019年4月20日(土)

講師 山崎 和明(四国学院大学名誉教授)

参加者 25名

第2回 <平和を考える 2>

題「憲法9条と自衛隊—両立か対立か—」

2019年7月27日(土)

講師 松竹 伸幸(編集者・ジャーナリスト、「自衛隊を活かす会」事務局長)

参加者 20名

第3回 <平和を考える 3>

題「日米地位協定と九条、そして自衛隊」

2019年8月31日(土)

講師 伊勢崎 賢治(東京外国語大学大学院教授)

参加者 23名

第4回 「エネルギーを考える」第8回

題「核に依存しない世界へ向けて」

2020年1月12日(日)~13日(月・祝)

「ソーラーシェアリングと有機農業へのフクシマからの挑戦」

講師 近藤 恵(合同会社 AgroKraft 代表社員、環境エネルギー政策研究所福島事務所長)

「再生可能エネルギー100%の国を目指して」

講師 牛山 泉(足利大学理事長、大学院特任教授)

参加者 31名

第5回 題「北東アジアの地政学的変動とキリスト教徒の責任」

2020年2月8日(土)

講師 佐藤 優(作家、元外務省主任分析官)

参加者 44名

(2) 修学院フォーラム いのち

目的 ゲノム編集は何を可能にするか、たばこと人生、また老いの日の生き方について考える。

第1回 <老いの日をいかに生き、支えるか3>

題「ひとり暮らしでも自宅で最期の日まで暮らせますか?自宅で死ぬのは怖くないのですか?」

講師 岡山 容子(おかやま在宅クリニック院長、医学博士)

2019年9月21日(土)

参加者 29名

第2回 題「ゲノム編集の光と影」

2020年3月21日(土)は中止。次年度に延期。

第3回 題「禁煙とキモノのナットクな話」

講師 高橋 裕子(京都大学医学部大学院特任教授、京都大学附属病院禁煙外来担当医)

2020年1月25日(土)

参加者 15名

### (3) 修学院フォーラム 福祉

目的 現代を見つめ、若者の貧困、DVと虐待、家族について考える。

第1回 題「映画上映『さとにきたらええやん』とはなしあい  
こども・若者の「居場所」って何？」

共催 公益財団法人京都YWCA

会場 日本基督教団室町教会

2019年6月29日(土)

講師 荘保 共子(認定NPO法人 こどもの里理事長)

参加者 43名

第2回 題「『福音家族』について」

2020年2月22日(土)

講師 晴佐久 昌英(カトリック上野教会・浅草教会主任司祭、「福音家族」主宰)

参加者 33名

## 2) 研修・セミナー・体験交流事業

### (1) 開発教育セミナー

目的 人権・平和・環境などの地球的課題を参加型学習で学び、私たちの社会のありようを考える。

第1回 題「開発教育入門セミナー

**Think Globally, Act Locally**～足もとと世界をつなぐ」

共催 公益財団法人京都市国際交流協会

会場 京都市国際交流会館

2019年6月23日(日)

講師 関西セミナーハウス活動センター開発教育研究会(佐藤 友紀、山中 信幸、織田 雪江)

参加者 31名

第2回 題「パレスチナ問題はなぜ解決しないのか？  
～その始まりとこれからを考える～」

2019年7月20日(土)～21日(日)

講師 役重 善洋(パレスチナの平和を考える会)

参加者 13名  
第3回 題「多様性が生きる社会～人権としての言語から考える～」

2019年9月7日（土）～8日（日）

講師 木村 護郎（上智大学外国語学部ドイツ語学科教授）

参加者 29名

第4回 題「忘却を乗り越える～足尾鉍毒問題とフクシマ」

2019年10月26日（土）～27日（日）

講師 菅井 益郎（渡良瀬川研究会代表）

参加者 20名

第5回 題「在日コリアンの歴史から学び、未来を考える」（フィールドワークとセミナー）

2019年11月30日（土）～12月1日（日）

講師 水野 直樹（京都大学名誉教授、同志社大学非常勤講師）

参加者 25名

第6回 題「“その日暮らし”の経済から考える私たちの社会～香港の地下経済と日本の未来～」

2019年12月14日（土）～15日（日）

講師 小川 さやか（立命館大学大学院先端総合学術研究科准教授）

参加者 12名

(2) お茶のこころと宗教のこころプログラム

目的 お茶と俳句を楽しみつつ、聖書の言葉を味わう。

題「聖書をいっしょに読みましょう 2019」

座長 榎本 栄次（日本基督教団牧師）

第1回 2019年4月8日（月）参加者10名

第2回 2019年5月13日（月）参加者10名

第3回 2019年6月3日（月）参加者11名

第4回 2019年7月1日（月）参加者13名

第5回 2019年9月2日（月）参加者12名

第6回 2019年10月7日（月）参加者11名

第7回 2019年11月11日（月）参加者6名

第8回 2019年12月2日（月）参加者9名

(3) 展示、講演会事業

もみじまつり

目的 紅葉の美しい季節に、関西セミナーハウスの施設を開放し、お茶、お琴、音楽、美術などを楽しむ。

共催 関西セミナーハウス



開催日 2019年11月23日(土・祝)  
 催し物 お茶席3席、邦楽席(箏曲)、「森の音 地球の音 心の音～民族楽器によるファミリーコンサート」、「佐々木真士日本画展—ガンジス河を巡る—」  
 担当・出展・演奏: 北風 宗照、藤井 宗恵、裏千家一宇会、岩堀 敬子、佐々木 真士、ロビン・ロイド  
 参加者 約395名

#### IV 関西セミナーハウス

1. 組織(2020年3月31日現在)
  - 1) 経営委員会 経営委員 6名
  - 2) 人事委員会 人事委員 4名
  - 3) 館長 1名
  - 4) スタッフ 19名
2. 会議
  - 1) 経営委員会 9回
  - 2) 人事委員会 8回
3. 特記事項
  - 1) 利用状況(カッコ内は前年度比、資料参照)
    - ① 年間の延宿泊者数
 

上期	4,536名	(114%)
下期	2,918名	(78%)
合計	7,454名	(96%) (前年より289名減)
    - ② 個人団体比率
 

団体	6,513名	(構成比87%) (88名増、前年比101%)
個人	941名	(構成比13%) (377減、前年比71%)
  - 2) 公益目的事業と収益事業分類別
    - (1) 宿泊分類別
      - ① 公益目的事業
 

・アカデミープログラム	109名
・キリスト教諸団体	803名
・教育関係・学会・研究会	1,869名
・文化・社会活動団体、労組他	1,017名
合計	3,798名
      - ② 収益事業
 

・一般諸団体	1,146名
・一般企業	1,136名
・人材育成法人	449名
・親睦グループ	86名

・個人	8 3 9名
合計	3, 6 5 6名
(2) 当日利用分類別	
公益目的事業	
・アカデミープログラム	7 5 9名
・キリスト教諸団体	1 6 2名
・教育関係・学会・研究会	1 5 7名
・労働組合、文化・社会活動団体	1, 4 3 8名
合計	2, 5 1 6名
(3) 宿泊及び当日利用合計	
公益目的事業	6, 3 1 4名 (63,3%)
収益事業	3, 6 5 6名 (36,7%)

( 以上 )